

2017年度 いわき明星大学学生生活満足度調査  
[報告書]

2018年3月1日

## も く じ

1. はじめに	…	3
2. 調査概要	…	4
3. 調査結果		
(1)基本項目	…	5
(2)本学の選択理由、満足度、期待要望	…	6
(3)興味関心	…	14
(4)課外活動	…	15
(5)不安・悩み	…	17
(6)チューター制度	…	20

はじめに  
学生生活委員会委員長  
五十嵐幸一

平成29年度の学生生活満足度調査は、平成28年度に引き続き「manabaIMU」を利用し、Web入力で回答を求める調査方法で実施しました。今年度も昨年度と同様の設問項目を設け、比較が行えるように設定しました。また、離籍者対策の観点からチューターに関する設問を新たに設けました。回答率は、平成29年9月1日現在の在籍学生984名中、528名の回答があり、昨年の48.3%より6.4%アップの54.7%と、過半数を超える回答がありました。

集計結果の経年的な変化に関しては、もう少し時間を掛けないと見えてこない部分がありますが、昨年度と今年度の集計結果を比較すると、学生生活の満足度に関してはほぼ同じような傾向であったといえます。その中でも「本学の施設・サービスに対する要望」についての項目は変化があったと思われるものの一つです。昨年度は「学生食堂の充実」と答えた学生が78.9%でありましたが、今年度は34.4%と半減しています。これは、学食のリニューアルによって学生の満足度が上がり、不満が少なくなった現れであるという見方ができます。

集計結果を鵜呑みにするわけにはいきませんが、この調査が施設や施策の改善、システムの改善に対して学生はどう考えているのかという「ふりかえり」を行う上の一助になれば幸いです。

いわき明星大学学生生活満足度調査

1. 調査の目的

いわき明星大学の教育目標「全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成」を達成するために、学生意識、生活実態等について学生満足度調査を行う。  
本学に籍を置く学生が、大学生活で直面する諸課題を解決し、より快適なキャンパスライフを具現化するための基礎資料とする。

2. 調査対象

2017年9月1日現在で在籍する全学部・研究科学生984名を対象とする。

3. 調査時期

2017年9月13日(水)～2017年10月31日(火)

4. 調査方法

学修支援システム「manab@imu」を利用しWeb入力により回答

5. 調査内容

- (1)基本項目
- (2)本学の選択理由、満足度、期待要望
- (3)興味関心
- (4)課外活動
- (5)不安・悩み
- (6)チューター制度

6. 調査の組織

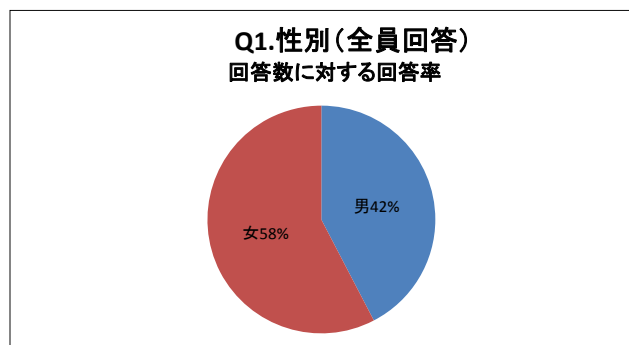
学生生活委員会

7. 回答状況

984名中538名の回答(回答率54.7%)

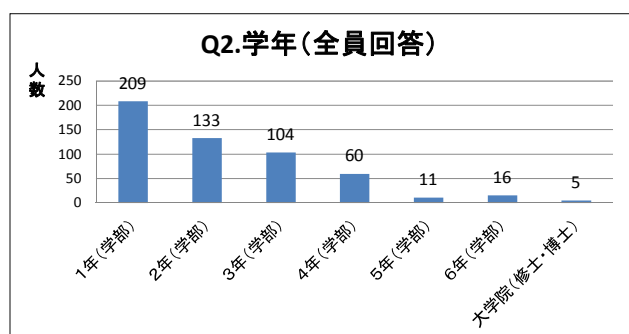
(1)基本項目

Q1. 性別(全員回答)	全学生数	回答数	回答率	回答数に対する回答率
男	517	228	44.1%	42%
女	467	310	66.4%	58%
計	984	538	54.7%	100%



全学生984名を対象に調査を実施し、有効回答率は男性44.1%、女性66.4%、全体54.7%であった。  
全学生数984名の男女比は男性52.5%、女性47.5%である。回答率は男女比に反し女性の回答率が男性よりも20%以上も上回っており、女性が積極的に回答した。

Q2. 学年(全員回答)	全学生数	回答数	回答率
1年(学部)	262	209	79.8%
2年(学部)	199	133	66.8%
3年(学部)	175	104	59.4%
4年(学部)	220	60	27.3%
5年(学部)	33	11	33.3%
6年(学部)	77	16	20.8%
大学院(修士・博士)	18	5	27.8%
計	984	538	54.7%



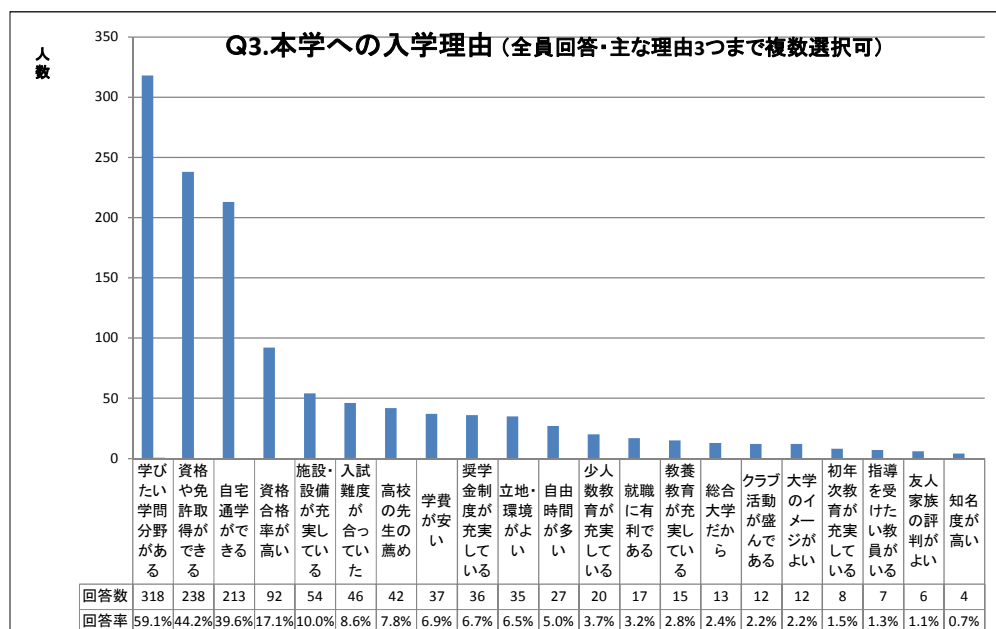
学年別の内訳では、タブレット端末を配付し、manab@IMUを授業等で積極的に利用していることもあり、1年生が79.8%で最も回答率が高く、約8割。それ以外の学年については学年が上がるにつれ、回答率は低下傾向であった。

## (2)本学の選択理由、満足度、期待要望

### Q3本学への入学理由

(全員回答・主な理由3つまで複数選択可)	回答数	回答率
学びたい学問分野がある	318	59.1%
資格や免許取得ができる	238	44.2%
自宅通学ができる	213	39.6%
資格合格率が高い	92	17.1%
施設・設備が充実している	54	10.0%
入試難度が合っていた	46	8.6%
高校の先生の薦め	42	7.8%
学費が安い	37	6.9%
奨学金制度が充実している	36	6.7%
立地・環境がよい	35	6.5%
自由時間が多い	27	5.0%
少人数教育が充実している	20	3.7%
就職に有利である	17	3.2%
教養教育が充実している	15	2.8%
総合大学だから	13	2.4%
クラブ活動が盛んである	12	2.2%
大学のイメージがよい	12	2.2%
初年次教育が充実している	8	1.5%
指導を受けたい教員がいる	7	1.3%
友人家族の評判がよい	6	1.1%
知名度が高い	4	0.7%
計	1252	538=100%

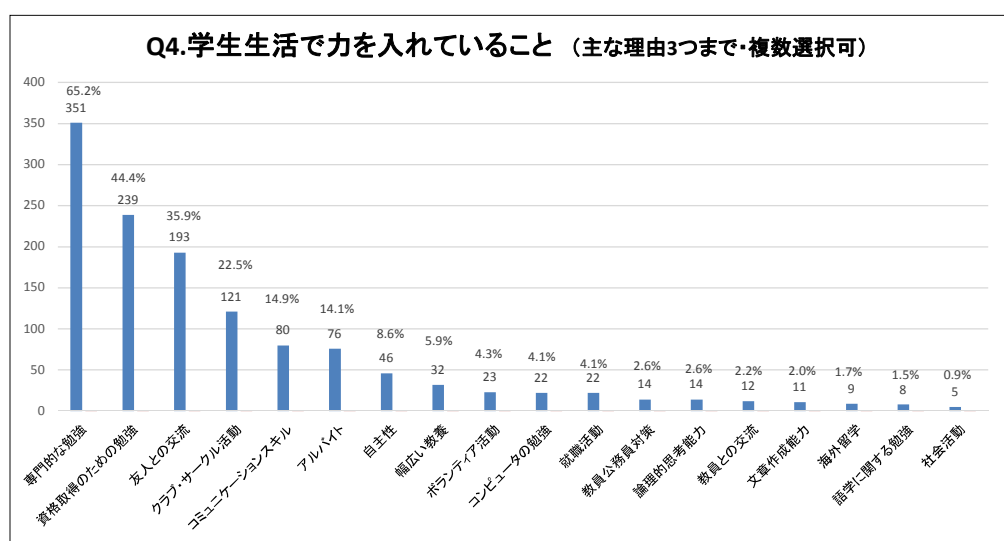
本学への入学理由のトップは「学びたい学問分野がある」59.1%であった。次いで「資格や免許取得ができる」44.2%であり、「自宅通学ができる」を理由として入学している学生も39.6%と4割ほどいる。



Q4学生生活で力を入れていること

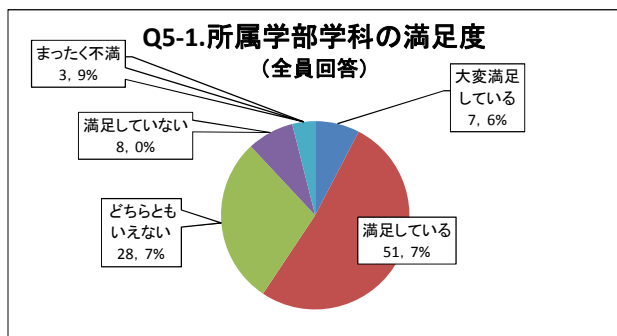
(全員回答・主な理由3つまで複数選択可)	回答数	回答率
専門的な勉強	351	65.2%
資格取得のための勉強	239	44.4%
友人との交流	193	35.9%
クラブ・サークル活動	121	22.5%
コミュニケーションスキル	80	14.9%
アルバイト	76	14.1%
自主性	46	8.6%
幅広い教養	32	5.9%
ボランティア活動	23	4.3%
コンピュータの勉強	22	4.1%
就職活動	22	4.1%
教員公務員対策	14	2.6%
論理的思考能力	14	2.6%
教員との交流	12	2.2%
文章作成能力	11	2.0%
海外留学	9	1.7%
語学に関する勉強	8	1.5%
社会活動	5	0.9%
計	1278	538=100%

回答した学生のうち、71.6%が「専門的な勉強」に力を入れていると回答している。「資格取得のための勉強」、「友人との交流」が次に多い回答で「社会活動」「海外留学」等、大学の外へ向けての活動は少ない。



Q5-1. 所属学部学科の満足度(全員回答)	回答数	回答率
大変満足している	41	7.6%
満足している	277	51.7%
どちらともいえない	154	28.7%
満足していない	43	8.0%
まったく不満	21	3.9%
計	536	536=100%

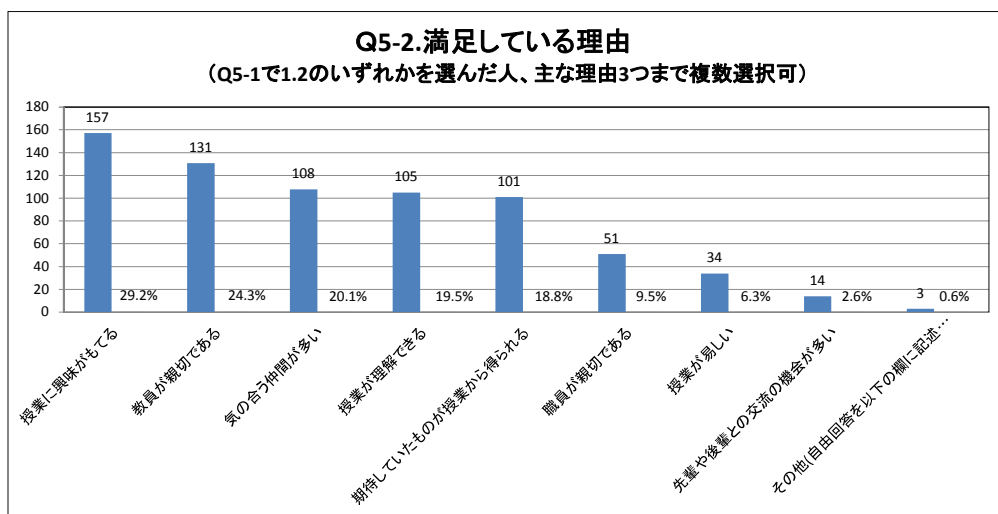
「大変満足してる」と「満足している」を加えると、約59%の学生が、自分の所属する学部学科に満足していると回答。一方、「満足していない」「まったく不満」と答えた学生は約12%だった。



Q5-2. 満足している理由(Q5-1で1.2のいずれかを選んだ人、主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
授業に興味もてる	157	29.2%
教員が親切である	131	24.3%
気の合う仲間が多い	108	20.1%
授業が理解できる	105	19.5%
期待していたものが授業から得られる	101	18.8%
職員が親切である	51	9.5%
授業が易しい	34	6.3%
先輩や後輩との交流の機会が多い	14	2.6%
その他(自由回答を以下の欄に記述すること)	3	0.6%
計	704	538=100%

「授業に興味もてる」「教員が親切である」「授業が理解できる」「気の合う仲間が多い」が上位であった。また、「授業が理解できる」「期待していたものが授業から得られる」との授業についての評価も概ね高い評価であった。





Q5-2. 満足している理由(その他:自由回答)

- ・学びたいことが学べるから(教養学部)。
- ・薬学部の実習設備や内容が大変充実していて、実務実習時に役立っているから(薬学部)。
- ・国家試験合格につながるような授業をしており、非常に良い(薬学部)。
- ・自分の望んだ学部学科である(薬学部)。

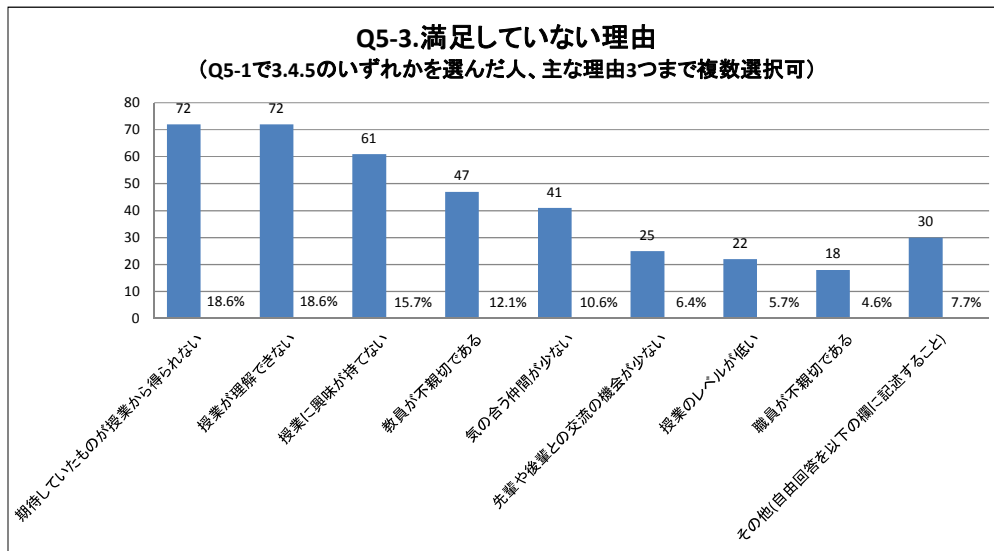
Q5-3. 満足していない理由(Q5-1で3.4.5のいずれかを選んだ人、主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
期待していたものが授業から得られない	72	18.6%
授業が理解できない	72	18.6%
授業に興味を持ってない	61	15.7%
教員が不親切である	47	12.1%
気の合う仲間が少ない	41	10.6%
先輩や後輩との交流の機会が少ない	25	6.4%
授業のレベルが低い	22	5.7%
職員が不親切である	18	4.6%
その他(自由回答を以下の欄に記述すること)	30	7.7%
	388	388=100%

「期待していたものが授業から得られない」「授業が理解できない」「授業に興味を持ってない」との回答が併せて約53%であった。また、「教員が不親切である」も約12%あり、「気の合う仲間が少ない」との回答が約11%あったことが気になる。

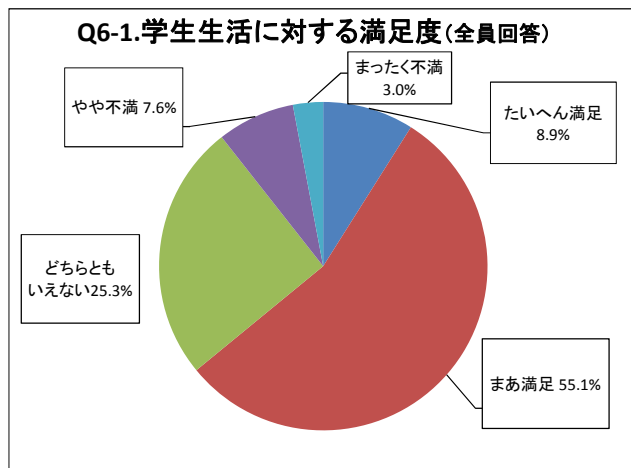
Q5-3. 満足していない理由(その他:自由回答)

- ・きちんと講義を受けている人とそうでない人の差がすごいから(看護学部)。
- ・授業中に生徒を見下したりバカにしている発言が多い(看護学部)。
- ・シラバスに書いてあることと授業の時に言っている事が違う。教員の全員が共通理解していないので困る(看護学部)。
- ・教員間での意思疎通、情報共有が出来てなく、一つの事柄に対して二通りの答えが返ってくる。情報伝達が遅い(看護学部)。
- ・手探りな面が多くシステムがはっきりしていない(看護学部)。
- ・聞きに行っても教えてくれない(看護学部)。
- ・一年目ではあるものの、手探りで進めている、教職員の意思の統一が図られていない。シラバス記載内容の徹底(看護学部)。
- ・学科がなくなるため授業が無くなるのは仕方ないが、せめて最後の学年が卒業するまでは無くさないでほしい。
- ・一年次に資格授業で取れなかった授業が次年度以降休講になり、意欲がそがれてしまった経験がある(人文・教養学部)。
- ・ドイツ語やフランス語を履修したかったのになくなってしまった。中国語を習ったが基本だけで喋れるレベルまでいかなかった。
- ・スポーツの授業が休講になり、体力づくりを自分でしなくてはならず、必修でなくていいので、体調不良になりやすい生徒のことも配慮してほしい。友人達の多くがキャリアデザインについていけなくて学校をやめてしまっている(人文・教養学部)。
- ・学校に金がない(人文・教養学部)。
- ・1期生だからなのか扱いが雑。実験台であることは承知の上でこの大学を選んだがあまりにも考えていないのではないかと。
- ・学校側の方針なのかかもしれないが、教養1期生が苦情を出して初めて対応するのはいかがなものかと思う。
- ・運営側も問題が起こらないようある程度予測を立てて行動すべきではないだろうか(人文・教養学部)。
- ・やる気のない学生が多い(人文・教養学部)。
- ・科学技術学部を志望していたが高校3年の時に募集が停止になった。教養学部のサブメジャーにICTがあるが、科学技術学部で専攻するというより、教養の範囲に留まり、より専門的な部分を学ぶことが出来ないように感じる(人文・教養学部)。
- ・時間割が微妙。必修の科目を4限や5限に設定しないほうがいいと思う。時間割を毎年度変更するのはやめてほしい。
- ・来年取ろうと思ったものが時間割の変更で必修とかぶり、来年までを考えて時間割を決めるのですごく困る(人文・教養学部)。
- ・心理学での専門性がない。やることが全部浅い。もっと深くまで踏み込んだカリキュラムが欲しい。
- ・単位の上限45は少なすぎる、メジャーとサブ、必修を入れると他に履修したものがあつた場合単位の上限のせいで取れなかった。
- ・入学後に学科が無くなり、肩身が狭くなった(人文・教養学部)。
- ・取得できる資格が入学当初より大幅に減った。薬剤師合格率全国1位を唄っているが蓋を開けると(人文・教養学部)。
- ・卒業条件が厳し過ぎる(薬学部)。
- ・進級、卒業が難しい(薬学部)。
- ・時間が守られていない(薬学部)。
- ・国家試験合格が最優先され、予備校化している。国家試験合格率を上げるために、卒業延期をさせる。
- ・そうして見かけ上高くなった合格率を前面に打ち出し、宣伝に使う。もう少し在學生や受験生(高校生)の将来を考えた教育・宣伝を行ってほしい。今の体制では本大学薬学部は淘汰されてしかるべき(薬学部)。
- ・人数の割に自習スペースが少なく、特にテスト期間中はどんなに朝早く学校にきても場所を確保できないことが多い(薬学部)。
- ・やる気、気持ちの持ちよう、モチベーションの問題(薬学部)。
- ・人間関係がうまくいかない(薬学部)。
- ・勉強環境が少ない、コンビニ・食堂まで遠い(薬学部)。
- ・大学で自習できる時間や図書館で勉強できる時間がどんどん短くなってきていること(薬学部)。
- ・勉強する場所がない生活にメリハリがなく、漠然としたくなる(薬学部)。
- ・薬学部新任教員の講義について、その内容を他の教員がある程度監督してほしい(薬学部)。
- ・英語力をつけられるような実践的な授業をしてほしい(薬学部)。
- ・教員の努力の方向性が不可解なことが多い(薬学部)。
- ・留年生が多いから不安になる(薬学部)。



Q6-1. 学生生活に対する満足度(全員回答)	回答数	回答率
たいへん満足	48	8.9%
まあ満足	296	55.1%
どちらともいえない	136	25.3%
やや不満	41	7.6%
まったく不満	16	3.0%
計	537	537=100%

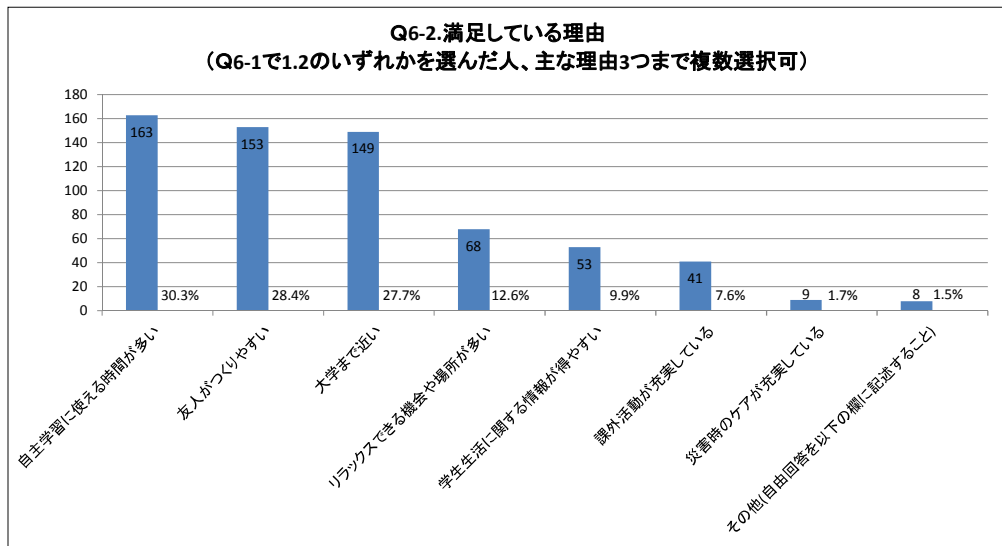
「たいへん満足」と「まあ満足」が合わせて64%であり、6割の学生が学生生活に満足している。一方、「やや不満」「まったく不満」は合わせて約11%と約1割であった。



Q6-2. 満足している理由(Q6-1で1.2のいずれかを選んだ人、主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
自主学習に使える時間が多い	163	30.3%
友人がつくりやすい	153	28.4%
大学まで近い	149	27.7%
リラックスできる機会や場所が多い	68	12.6%
学生生活に関する情報が得やすい	53	9.9%
課外活動が充実している	41	7.6%
災害時のケアが充実している	9	1.7%
その他(自由回答を以下の欄に記述すること)	8	1.5%
計	644	538=100%

「自主学習に使える時間が多い」、「友人がつくりやすい」「大学まで近い」が上位であった。一方、「課外活動が充実している」との回答が約8%と少なく、本学学友会活動停滞を印象づける結果となった。



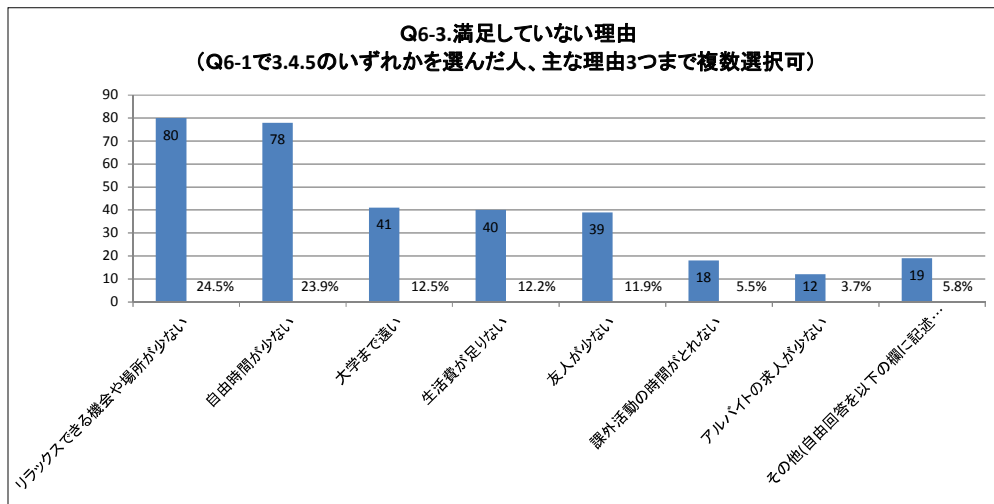
Q6-2. 満足している理由(その他:自由回答)

- ・生きていられるから(科学技術学部)。
- ・学生サロンのおかげで今後も学生サロンは存続してほしいし、存在を知ってほしい。特に澤田先生にはお世話になった。学校をやめてしまいたいそんな人も学生サロンの存在を知り、友人を作ったりゆったりしてほしい(人文・教養学部)。
- ・不満な点が特にないので(薬学部)。
- ・友人が優しい(薬学部)。
- ・仲間たちとで勉強していく感じが良い(薬学部)。
- ・集中して勉強できるスペースが多い(薬学部)。
- ・サークルが楽しい(看護学部)。

Q6-3. 満足していない理由(Q6-1で3.4.5のいずれかを選んだ人、主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
リラックスできる機会や場所が少ない	80	24.5%
自由時間が少ない	78	23.9%
大学まで遠い	41	12.5%
生活費が足りない	40	12.2%
友人が少ない	39	11.9%
課外活動の時間がとれない	18	5.5%
アルバイトの求人が少ない	12	3.7%
その他(自由回答を以下の欄に記述すること)	19	5.8%
計	327	327=100%

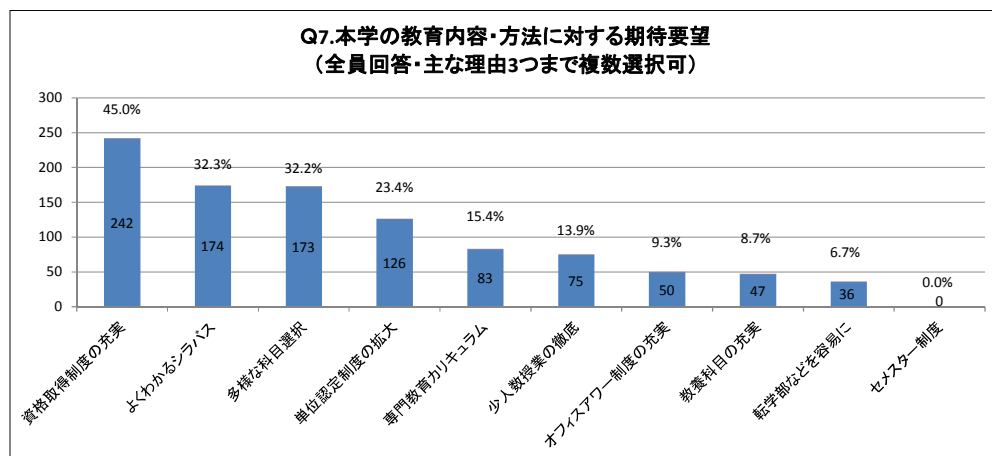
「リラックスできる機会や場所が少ない」「自由時間が少ない」がともに20%を越えている。「課外活動の時間がとれない」と回答した学生は約6%で少数であった。



Q7. 本学の教育内容・方法に対する期待要望(全員回答・主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
資格取得制度の充実	242	45.0%
よくわかるシラバス	174	32.3%
多様な科目選択	173	32.2%
単位認定制度の拡大	126	23.4%
専門教育カリキュラム	83	15.4%
少人数授業の徹底	75	13.9%
オフィスアワー制度の充実	50	9.3%
教養科目の充実	47	8.7%
転学部などを容易に	36	6.7%
セメスター制度	0	0.0%
計	1006	538=100%

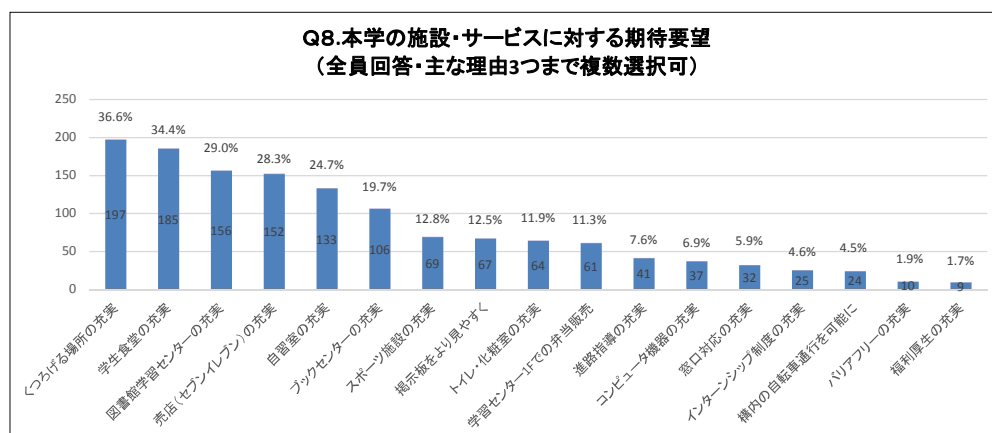
「資格取得制度の充実」を45%の学生が期待している。「よくわかるシラバス」と「多様な科目選択」を要望する学生も合わせて約65%いた。



Q8. 本学の施設・サービスに対する期待要望(全員回答・主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
くつろげる場所の充実	197	36.6%
学生食堂の充実	185	34.4%
図書館学習センターの充実	156	29.0%
売店(セブンイレブン)の充実	152	28.3%
自習室の充実	133	24.7%
ブックセンターの充実	106	19.7%
スポーツ施設の充実	69	12.8%
掲示板をより見やすく	67	12.5%
トイレ・化粧室の充実	64	11.9%
学習センター1Fでの弁当販売	61	11.3%
進路指導の充実	41	7.6%
コンピュータ機器の充実	37	6.9%
窓口対応の充実	32	5.9%
インターンシップ制度の充実	25	4.6%
構内の自転車通行を可能に	24	4.5%
バリアフリーの充実	10	1.9%
福利厚生者の充実	9	1.7%
計	1368	538=100%

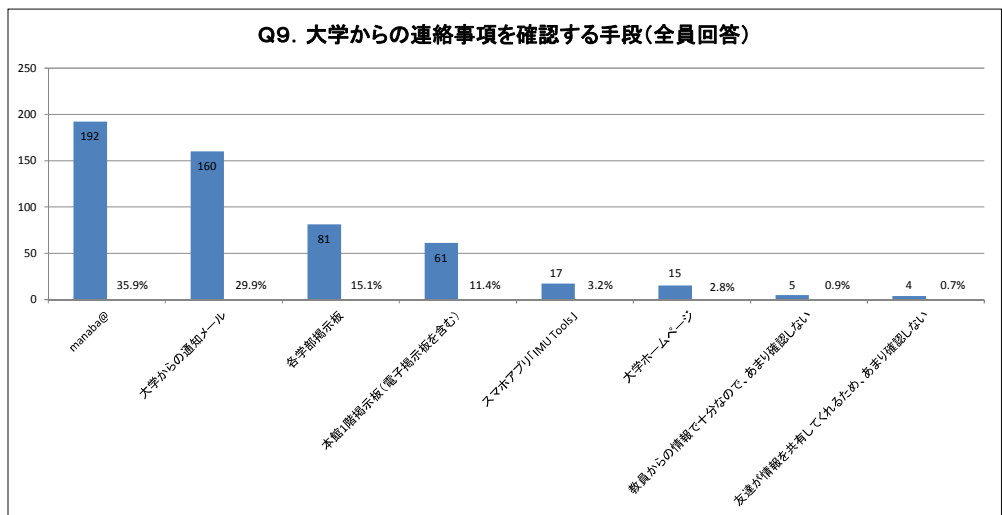
「くつろげる場所の充実」および「学生食堂の充実」を希望している学生が併せて約70%であった。「図書館・学習センターの充実」および「売店(セブンイレブン)の充実」の要望も高い。



Q9. 大学からの連絡事項を確認する手段(全員回答)

	回答数	回答率
manaba@	192	35.9%
大学からの通知メール	160	29.9%
各学部掲示板	81	15.1%
本館1階掲示板(電子掲示板を含む)	61	11.4%
スマホアプリ「IMU Tools」	17	3.2%
大学ホームページ	15	2.8%
教員からの情報で十分なので、あまり確認しない	5	0.9%
友達が情報を共有してくれるため、あまり確認しない	4	0.7%
計	535	535=100%

「manaba@IMU」、「大学からの通知メール」を確認手段としている学生が合わせて61.8%。「各学部掲示板」を確認手段としている学生は15.1%であった。

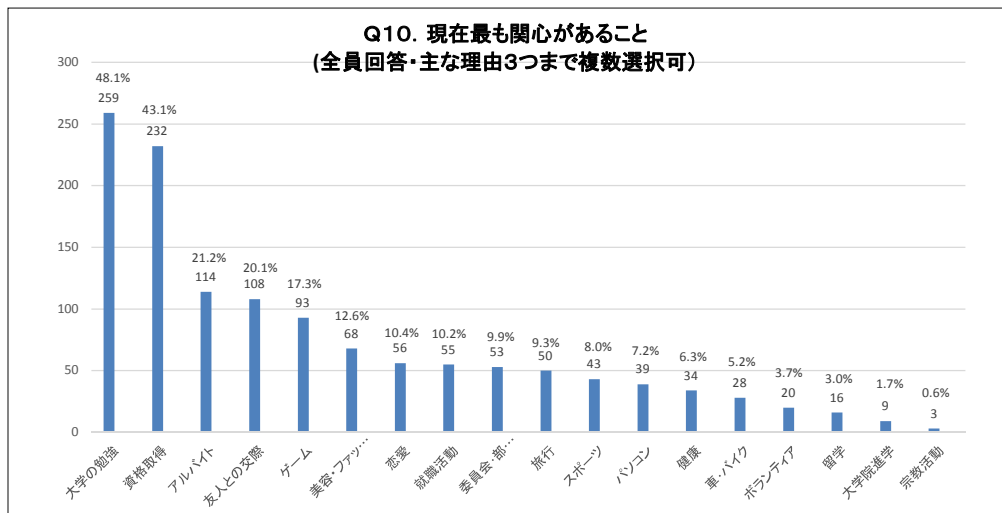


(3)興味関心

Q10. 現在最も関心があること(全員回答・主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
大学の勉強	259	48.1%
資格取得	232	43.1%
アルバイト	114	21.2%
友人との交際	108	20.1%
ゲーム	93	17.3%
美容・ファッション	68	12.6%
恋愛	56	10.4%
就職活動	55	10.2%
委員会・部活動	53	9.9%
旅行	50	9.3%
スポーツ	43	8.0%
パソコン	39	7.2%
健康	34	6.3%
車・バイク	28	5.2%
ボランティア	20	3.7%
留学	16	3.0%
大学院進学	9	1.7%
宗教活動	3	0.6%
計	1280	538=100%

最も興味関心があることは「大学の勉強」が48.1%で、次いで「資格取得」が43.1%、「アルバイト」が21.2%と続いた。

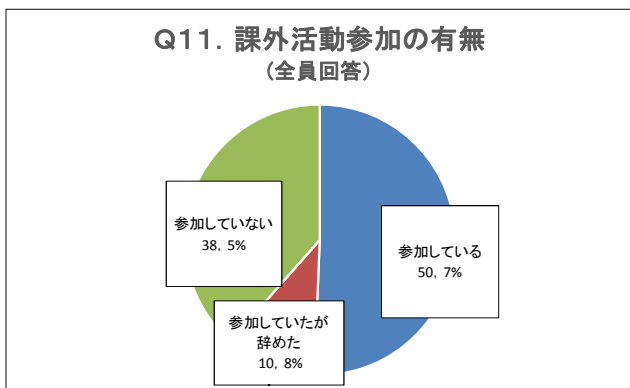


**(4)課外活動**

Q11. 課外活動参加の有無(全員回答)

※学友会・部活動・サークル活動の参加の有無	回答数	回答率
1. 参加している	271	50.7%
2. 参加していたが辞めた	58	10.8%
3. 参加していない	206	38.5%
計	535	535=100%

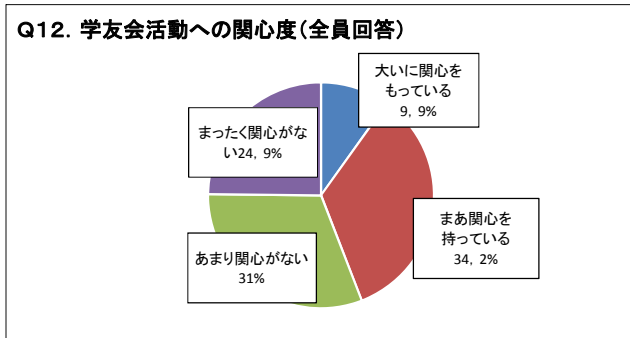
課外活動に参加している学生は50.7%であった。また「参加していない」学生は38.5%であった。



Q12. 学友会活動への関心度(全員回答)

	回答数	回答率
大いに興味をもっている	53	9.9%
まあ興味を持っている	183	34.2%
あまり関心がない	166	31.0%
まったく関心がない	133	24.9%
計	535	535=100%

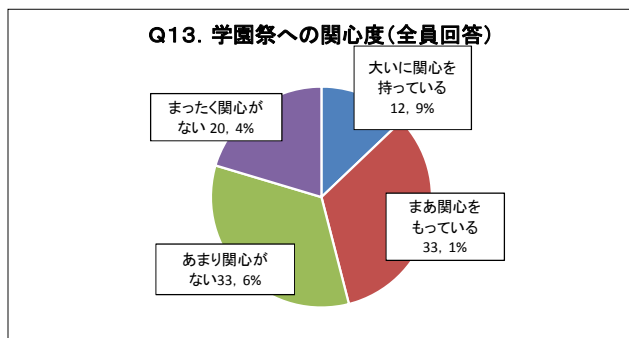
学友会活動に「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と答えた学生が合わせて55.9%おり、約6割の学生は関心を持っていない。



Q13. 学園祭への関心度(全員回答)

	回答数	回答率
大いに関心をもっている	69	12.9%
まあ関心をもっている	177	33.1%
あまり関心がない	180	33.6%
まったく関心がない	109	20.4%
計	535	535=100%

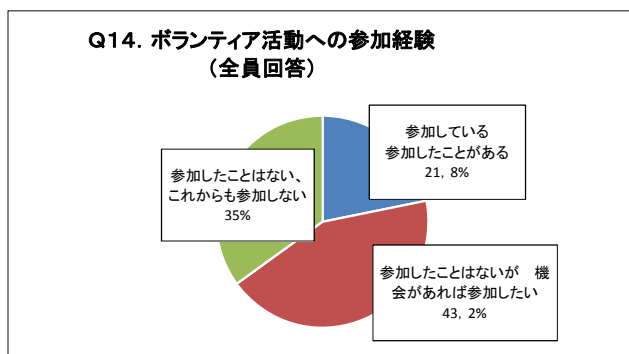
学園祭に「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と答えた学生が合わせて54%おり、「大いに関心がある」、「まあ関心をもっている」学生を上回っていた。



Q14. ボランティア活動への参加経験(全員回答)

	回答数	回答率
参加している・参加したことがある(Q15へ)	116	21.8%
参加したことはないが機会があれば参加したい	230	43.2%
参加したことはない、これからも参加しない	186	35.0%
計	532	532=100%

ボランティア活動への参加経験がある学生は、21.8%であったが、43.2%の学生が機会があれば参加したいと答えている。一方で、「参加したことはない、これからも参加しない」と答えた学生は35.0%であった。

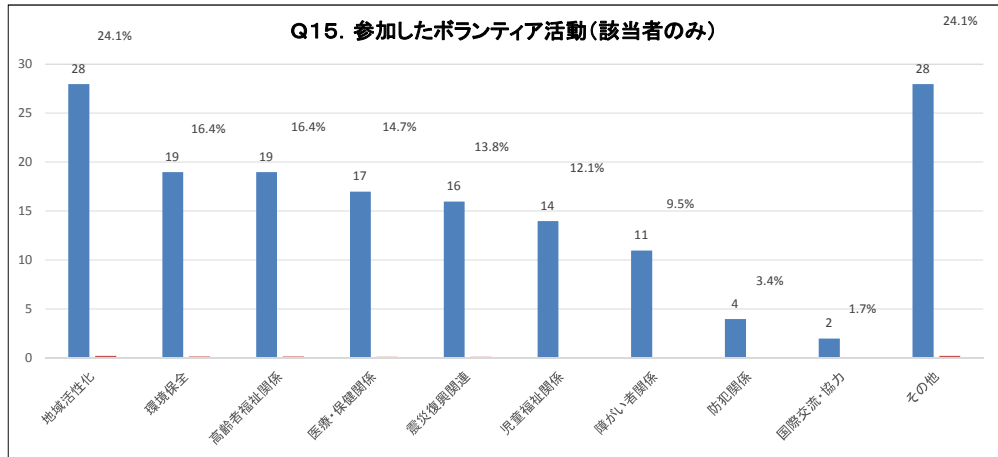




Q15. 参加したボランティア活動(該当者のみ)

	回答数	回答率
地域活性化	28	24.1%
環境保全	19	16.4%
高齢者福祉関係	19	16.4%
医療・保健関係	17	14.7%
震災復興関連	16	13.8%
児童福祉関係	14	12.1%
障がい者関係	11	9.5%
防犯関係	4	3.4%
国際交流・協力	2	1.7%
その他	28	24.1%
計	158	116=100%

参加したボランティア活動を種類別にみると、「地域活性化」が24.1%、「環境保全」「高齢者福祉関係」などの活動が挙げられている。

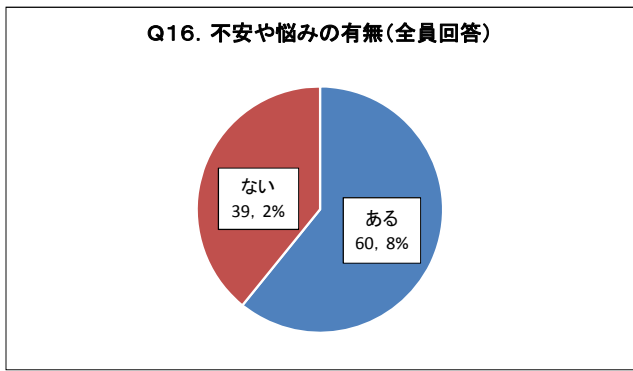


(5)不安・悩み

Q16. 不安や悩みの有無(全員回答)

	回答数	回答率
1. ある(Q17,Q18へ)	326	60.8%
2. ない	210	39.2%
計	536	536=100%

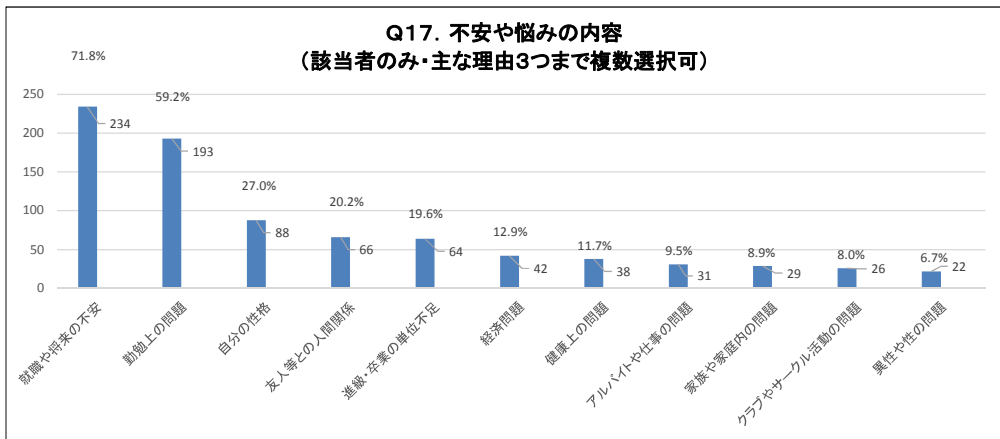
不安や悩みがあると答えた学生は60.8%おり、約6割にのぼる。それに対し、不安や悩みがないと答えた学生は39.2%であった。



Q17. 不安や悩みの内容(該当者のみ・主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
就職や将来の不安	234	71.8%
勤勉上の問題	193	59.2%
自分の性格	88	27.0%
友人等との人間関係	66	20.2%
進級・卒業の単位不足	64	19.6%
経済問題	42	12.9%
健康上の問題	38	11.7%
アルバイトや仕事の問題	31	9.5%
家族や家庭内の問題	29	8.9%
クラブやサークル活動の問題	26	8.0%
異性や性の問題	22	6.7%
	833	326=100%

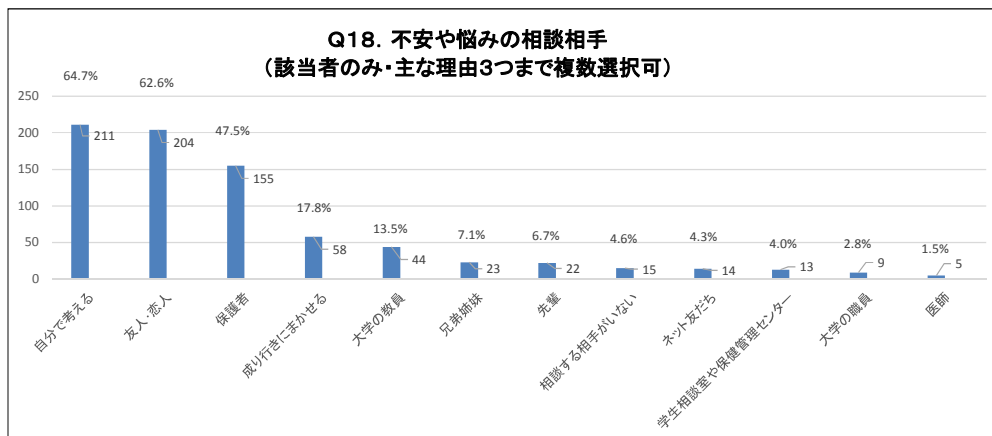
最も多い不安や悩みは、「就職や将来の不安」で71.8%であった。次いで、「勤勉上の問題」59.2%、「自分の性格」27.0%で自身の問題を上げている。以下に人間関係の「友人等との人間関係」20.2%があげられている。



Q18. 不安や悩みの相談相手(該当者のみ・主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
自分で考える	211	64.7%
友人・恋人	204	62.6%
保護者	155	47.5%
成り行きにまかせる	58	17.8%
大学の教員	44	13.5%
兄弟姉妹	23	7.1%
先輩	22	6.7%
相談する相手がない	15	4.6%
ネット友だち	14	4.3%
学生相談室や保健管理センター	13	4.0%
大学の職員	9	2.8%
医師	5	1.5%
計	773	326=100%

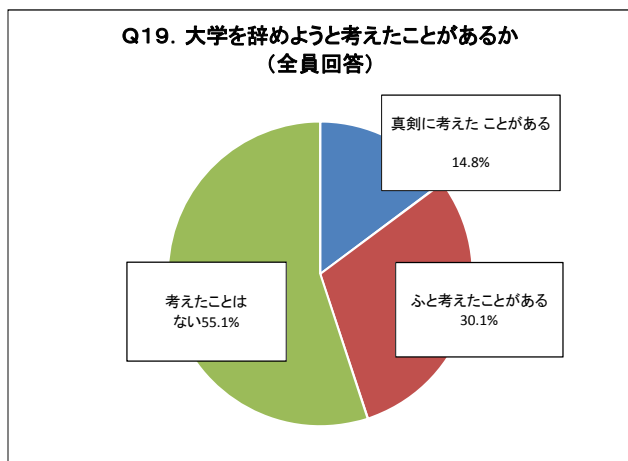
不安や悩みの相談相手で最も多かったのは、「自分で考える」64.7%、次いで「友人・恋人」62.6%であった。以下、「保護者」47.5%と続く。



Q19. 大学を辞めようと思ったことがあるか(全員回答)

	回答数	回答率
真剣に考えたことがある(Q20へ)	79	14.8%
ふと考えたことがある(Q20へ)	161	30.1%
考えたことはない	294	55.1%
計	534	534=100%

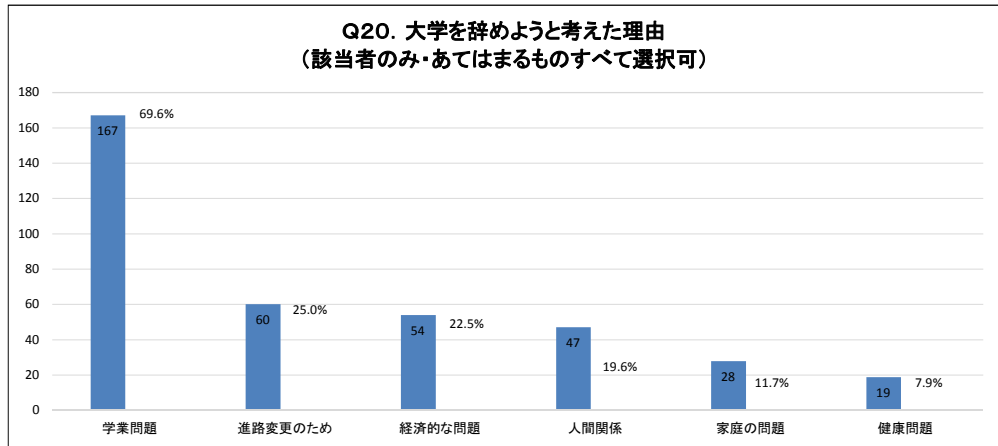
本学を辞めることを考えたことがある学生は、「真剣に考えたことがある」14.8%、「ふと考えたことがある」30.1%を合わせ、約5割いる。



Q20. 大学を辞めようと思った理由(該当者のみ・あてはまるものすべて選択可)

	回答数	回答率
学業問題	167	69.6%
進路変更のため	60	25.0%
経済的な問題	54	22.5%
人間関係	47	19.6%
家庭の問題	28	11.7%
健康問題	19	7.9%
計	375	240=100%

大学を辞めようと思った理由は、「学業問題」が69.6%と最も高い。次いで、「進路変更のため」25.0%である。

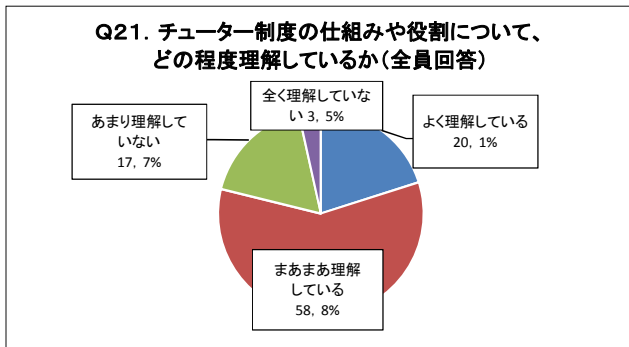


(6)チューター制度

Q21. チューター制度の仕組みや役割について、どの程度理解しているか(全員回答)

	回答数	回答率
よく理解している	110	20.1%
まあまあ理解している	322	58.8%
あまり理解していない	97	17.7%
全く理解していない	19	3.5%
計	548	548=100%

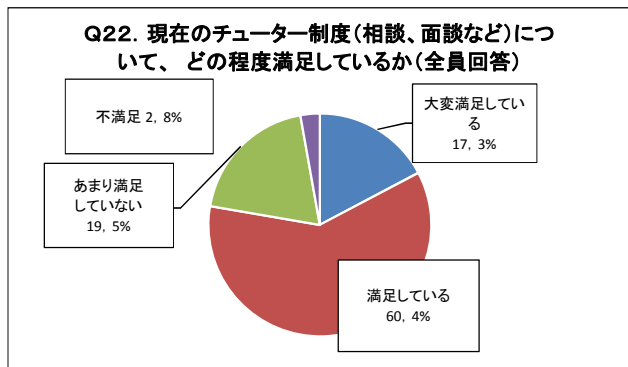
「よく理解している」「まあまあ理解している」を併せると78.9%の学生が理解を示している。理解度が低い学生は21%であった。



Q22. 現在のチューター制度(相談、面談など)について、どの程度満足しているか(全員回答)

	回答数	回答率
大変満足している	92	17.3%
満足している	322	60.4%
あまり満足していない	104	19.5%
不満足	15	2.8%
計	533	533=100%

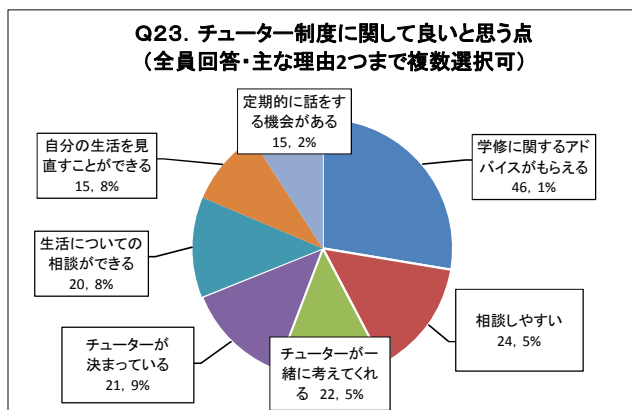
「大変満足している」「満足している」を併せると77.7%であり、約8割の学生が満足している。満足度が低い学生は22.3%であった。



Q23. チューター制度に関して良いと思う点(全員回答・主な理由2つまで複数選択可)

	回答数	回答率
学修に関するアドバイスがもらえる	248	46.1%
相談しやすい	132	24.5%
チューターと一緒に考えてくれる	121	22.5%
チューターが決まっている	118	21.9%
生活についての相談ができる	112	20.8%
自分の生活を見直すことができる	85	15.8%
定期的に話をする機会がある	82	15.2%
計	898	538=100%

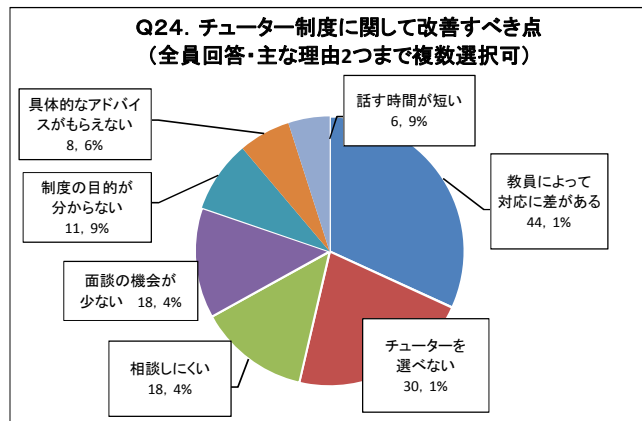
「学修に関するアドバイスがもらえる」が46.1%で最も多く、次いで「相談しやすい」が24.5%、「チューターと一緒に考えてくれる」が22.5%であった。



Q24. チューター制度に関して改善すべき点(全員回答・主な理由2つまで複数選択可)

	回答数	回答率
教員によって対応に差がある	237	44.1%
チューターを選べない	162	30.1%
相談しにくい	99	18.4%
面談の機会が少ない	99	18.4%
制度の目的が分からない	64	11.9%
具体的なアドバイスがもらえない	46	8.6%
話す時間が短い	37	6.9%
計	744	538=100%

「教員によって対応に差がある」が44.1%で最も多く、次いで「チューターを選べない」が30.1%であった。「相談しにくい」「面談の機会が少ない」もそれぞれ18.4%であった。



「2017学生生活満足度調査」

■回答期限:平成29年9月25日(月)

■調査の目的

いわき明星大学の教育目標全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成を達成するために、本学に籍を置く学生が大学生生活で直面する諸課題を解決し、より快適なキャンパスライフを具現化するための基礎資料とするため、学生意識、生活実態等について学生生活満足度調査を行う。

■調査対象

平成29年9月現在で在学する学部・大学院全学生対象。

■本調査で回答して頂いた情報は、上記目的に限定し使用します。

■分析結果の公表等においては、統計的に処理し回答者が特定されることはありません。

■不明な点がありましたら、教務学生支援センターまでお問い合わせください。

電話 0246-29-7118(直通) E-mail gakusei@iwakimu.ac.jp

(1)基本項目

Q 1. 性別

1. 男
2. 女

Q 2. 学年

1. 1年
2. 2年
3. 3年
4. 4年
5. 5年
6. 6年

(2)本学の選択理由、満足度、期

Q 3. 本学への入学理由(全員回答・主な理由3つまで複数選択可)

1. 学びたい学問分野がある
2. 資格や免許取得ができる
3. 資格合格率が高い
4. 入試難度が合っている
5. 施設・設備が充実している
6. 自宅通学ができるから
7. 立地・環境がよい
8. 高校の先生の薦め
9. 教養教育が充実している
10. 総合大学だから
11. 指導を受けたい教員がいる
12. クラブ活動が盛んである
13. 就職に有利である
14. 初年次教育が充実している
15. 友人家族の評判がよい
16. 大学のイメージがよい
17. 少人数教育が充実している
18. 奨学金制度が充実している
19. 自由時間が多い
20. 知名度が高い
21. 学費が安い

Q 4. 学生生活で力を入れていること(全員回答・主な理由3つまで複数選択可)

1. 専門的な勉強
2. 資格取得のための勉強
3. 友人との交流
4. クラブ・サークル活動
5. アルバイト
6. コミュニケーションスキル
7. 自主性
8. 幅広い教養
9. 語学に関する勉強
10. コンピュータの勉強
11. 教員公務員対策
12. 就職活動
13. 社会活動
14. ボランティア活動
15. 文章作成能力
16. 論理的思考能力
17. 教員との交流
18. 海外留学

Q5-1. 所属学部学科の満足度(全員回答)

- 1.大変満足している
- 2.満足している
- 3.どちらともいえない
- 4.満足していない
- 5.まったく不満

Q5-2. 満足している理由(Q5-1で1,2のいずれかを選んだ人、主な理由3つまで複数選択可)

- 1.期待していたものが授業から得られる
- 2.授業が理解できる
- 3.授業が易しい
- 4.授業に興味をもてる
- 5.教員が親切である
- 6.職員が親切である
- 7.気の合う仲間が多い
- 8.先輩や後輩との交流の機会が多い
- 9.その他(自由回答を以下の欄に記述すること)

Q5-3. 満足していない理由(Q5-1で3,4,5のいずれかを選んだ人、主な理由3つまで複数選択可)

- 1.期待していたものが授業から得られない
- 2.授業が理解できない
- 3.授業のレベルが低い
- 4.授業に興味を持ってない
- 5.教員が不親切である
- 6.職員が不親切である
- 7.気の合う仲間が少ない
- 8.先輩や後輩との交流の機会が少ない
- 9.その他(自由回答を以下の欄に記述すること)

Q6-1. 学生生活に対する満足度(全員回答)

- 1.たいへん満足
- 2.まあ満足
- 3.どちらともいえない
- 4.やや不満
- 5.まったく不満

Q6-2. 満足している理由(Q6-1で1,2のいずれかを選んだ人、主な理由3つまで複数選択可)

- 1.自主学習に使える時間が多い
- 2.課外活動が充実している
- 3.友人がつくりやすい
- 4.学生生活に関する情報が得やすい
- 5.災害時のケアが充実している
- 6.大学まで近い
- 7.リラックスできる機会や場所が多い
- 8.その他(自由回答を以下の欄に記述すること)

Q6-3. 満足していない理由(Q6-1で3,4,5のいずれかを選んだ人、主な理由3つまで複数選択可)

- 1.自由時間が少ない
- 2.課外活動の時間がとれない
- 3.友人が少ない
- 4.生活費が足りない
- 5.アルバイトの求人が少ない
- 6.大学まで遠い
- 7.リラックスできる機会や場所が少ない
- 8.その他(自由回答を以下の欄に記述すること)

Q7. 本学の教育内容・方法に対する期待要望(全員回答・主な理由3つまで複数選択可)

- 1.資格取得制度の充実
- 2.多様な科目選択
- 3.よくわかるシラバス
- 4.単位認定制度の拡大
- 5.専門教育カリキュラム
- 6.少人数授業の徹底
- 7.オフィスアワー制度の充実
- 8.教養科目の充実
- 9.semester制度
- 10.転学部などを容易に

Q8. 本学の施設・サービスに対する期待要望(全員回答・主な理由3つまで複数選択可)

- 1.学生食堂の充実
- 2.ブックセンターの充実
- 3.売店(セブンイレブン)の充実
- 4.くつろげる場所の充実
- 5.図書館・学習センターの充実
- 6.スポーツ施設の充実
- 7.進路指導の充実
- 8.窓口対応の充実
- 9.インターンシップ制度の充実
- 10.福利厚生者の充実



- 11.トイレ・化粧室の充実
- 12.コンピュータ機器の充実
- 13.バリアフリーの充実
- 14.自習室の充実
- 15.掲示板をより見やすく
- 16.構内の自転車通行を可能に
- 17.学習センター1Fでの弁当販売

Q 9. 大学からの連絡事項を確認する手段(全員回答)

- 1.本館1F掲示板 (電子掲示板を含む)
- 2.各学部掲示板
- 3.大学ホームページ
- 4.スマホアプリ「IMU Tools」
- 5.manab@IMU
- 6.大学からの通知メール
- 7.教員からの情報で十分なので、あまり確認しない
- 8.友達が情報を共有してくれるため、あまり確認しない

### (3)興味関心

Q 10. 現在最も興味関心があること(全員回答・主な理由3つまで複数選択可)

- 1.資格取得
- 2.大学の勉強
- 3.アルバイト
- 4.友人との交際
- 5.委員会・部活動
- 6.就職活動
- 7.恋愛
- 8.美容・ファッション
- 9.パソコン
- 10.ボランティア
- 11.スポーツ
- 12.旅行
- 13.留学
- 14.車・バイク
- 15.健康
- 16.大学院進学
- 17.宗教活動
- 18.ゲーム

### (4)課外活動

Q 11. 課外活動参加の有無(全員回答)

※学友会・部活動・サークル活動の参加の有無

- 1.参加している
- 2.参加していたが辞めた
- 3.参加していない

Q 12. 学友会活動への関心度(全員回答)

- 1.大いに関心を持っている
- 2.まあ関心を持っている
- 3.あまり関心がない
- 4.まったく関心がない

Q 13. 学園祭への関心度(全員回答)

- 1.大いに関心を持っている
- 2.まあ関心を持っている
- 3.あまり関心がない
- 4.まったく関心がない

Q 14. ボランティア活動への参加経験(全員回答)

- 1.参加している・参加したことがある(Q15へ)
- 2.参加したことはないが機会があれば参加したい
- 3.参加したことはない、これからは参加しない

Q 15. 参加したボランティア活動(該当者のみ)

- 1.児童福祉関係
- 2.障がい者関係
- 3.地域活性化
- 4.環境保全
- 5.高齢者福祉関係
- 6.国際交流・協力
- 7.震災復興関連
- 8.防犯関係
- 9.医療・保健関係
- 10.その他

## (5)不安・悩み

Q 1 6. 不安や悩みの有無(全員回答)

- 1.ある(Q17、Q18へ)
- 2.ない

Q 1 7. 不安や悩みの内容(該当者のみ・主な理由3つまで複数選択可)

- 1.就職や将来の不安
- 2.勉学上の問題
- 3.自分の性格
- 4.友人等との人間関係
- 5.経済問題
- 6.アルバイトや仕事の問題
- 7.クラブやサークル活動の問題
- 8.進級・卒業の単位不足
- 9.異性や性の問題
- 10.家族や家庭内の問題
- 11.健康上の問題

Q 1 8. 不安や悩みの相談相手(該当者のみ・主な理由3つまで複数選択可)

- 1.友人・恋人
- 2.自分で考える
- 3.保護者
- 4.なりゆきにまかせる
- 5.先輩
- 6.相談する相手がいらない
- 7.大学の教員
- 8.大学の職員
- 9.兄弟姉妹
- 10.学生相談室や保健管理センター
- 11.医師
- 12.ネット友だち

Q 1 9. 大学を辞めようと思ったことがあるか(全員回答)

- 1.真剣に考えたことがある(Q20へ)
- 2.ふと考えたことがある(Q20へ)
- 3.考えたことはない

Q 2 0. 大学を辞めようと思った理由(該当者のみ・あてはまるものすべて選択可)

- 1.学業問題
- 2.進路変更のため
- 3.経済的な問題
- 4.家庭の問題
- 5.健康問題
- 6.人間関係

## (6)チューター制度

Q 2 1. チューター制度の仕組みや役割について、どの程度理解しているか(全員回答)

- 1.よく理解している
- 2.まあまあ理解している
- 3.あまり理解していない
- 4.全く理解していない

Q 2 2. 現在のチューター制度(相談、面談など)について、どの程度満足しているか(全員回答)

- 1.大変満足している
- 2.満足している
- 3.あまり満足していない
- 4.不満足

Q 2 3. チューター制度に関して良いと思う点(全員回答・主な理由2つまで複数選択可)

- 1.学修に関するアドバイスがもらえる
- 2.生活についての相談ができる
- 3.自分の生活を見直すことができる
- 4.チューターと一緒に考えてくれる
- 5.相談しやすい
- 6.定期的に話をする機会がある
- 7.チューターが決まっている

Q 2 4. チューター制度に関して改善すべき点(全員回答・主な理由2つまで複数選択可)

- 1.教員によって対応に差がある
- 2.具体的なアドバイスがもらえない
- 3.話す時間が短い
- 4.相談しにくい
- 5.制度の目的が分からない
- 6.面談の機会が少ない
- 7.チューターを選べない

以上、ご協力ありがとうございました。